

一般社団法人Flower of Life
紹介者様用資料

※この資料は、
一般社団法人Flower of Life が
Healyを紹介した方に、より親しみやすく
利用して頂けるために作成した資料です。
Healy 公式の取扱説明書の補助的な
参考資料としてご利用ください。

※コピー 転送 禁止

Healy 周波数プログラム 使用マニュアル



あなたの暮らしに周波数を



目次

はじめに	3~5
注意点	6
Healy 推奨サポートファクター	6
装着方法	7~9
周波数プログラム使用法	9~12

※この資料は Healy をより簡単に使用していただくために作成した Flower of Life 協会が作成したマニュアルです。
Healy 付属の取扱説明書を良く読み参考資料としてご利用ください

はじめに

健康の基礎としての強い細胞

細胞の研究者であるRobert O. Becker博士およびノーベル賞の元会長であるBjorn Nordenstrom博士は、細胞膜の張力が低下すると、様々な病気を引き起こす可能性があることを発見しました。

彼らのモデルによると、細胞と細胞同士の情報伝達機能が健康であれば人間も健康状態にあることが分かっています。よって、細胞の健康は、電子細胞膜電圧というひとつのシンプルなパラメーターによって決まるのです。

細胞膜電圧モデルによると、細胞同士が情報伝達をするに十分な電圧は、 -70mV が理想だと言われています。病気の 場合は、この電圧が -50mV まで下がります。 -40mV だと、痛みや炎症が見られるようになります。またのBeckerとNordenstrom研究によると、 -15mV 以下は、細胞が腫瘍に変異する可能性がある閾値であることが分かりました(図1.1.1を参照)。

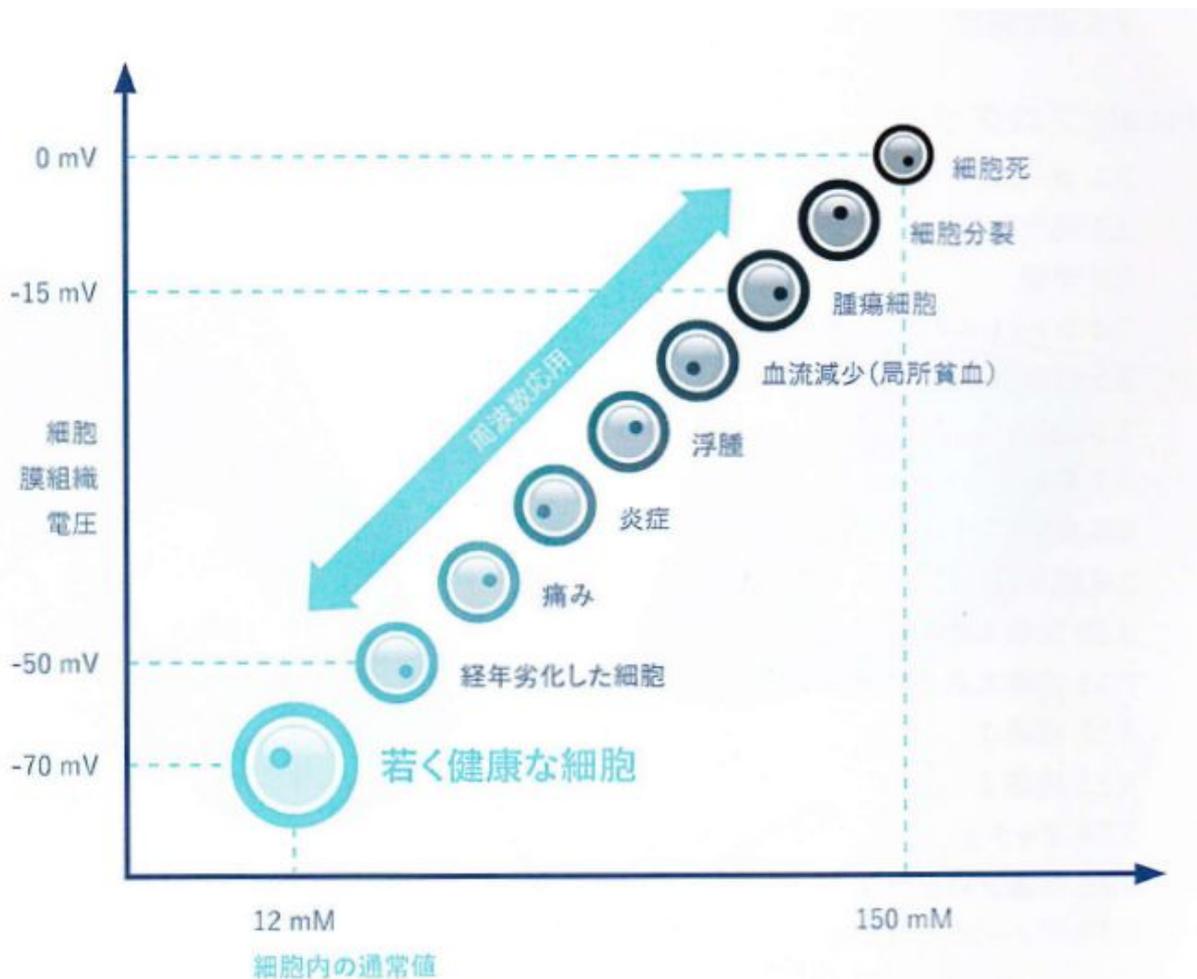


図1.1.1: 細胞膜電圧モデル

このモデルによると、電子周波数は、細胞の情報伝達における言語の役割を担うキーとなっています。応用時使用する周波数変調マイクロ電流は、周波数の「言語」を使い、細胞と情報伝達を行います。よって、応用時の目的のひとつは、細胞外の酸過多を中和し、細胞膜の自然な張力を取り戻すことにあります。

応用時使用できる周波数の知識は、Healy開発において重要な役割を果たしました。情報を制御する周波数応用を通し、Healyは、特定かつ個別に厳選した周波数と電流で、細胞環境と細胞膜電圧に適切に対応する必要があります。

この方法では、ATP合成酵素、つまり細胞のエネルギー生成や人間の体の基礎的な構成要素を作るタンパク質合成が刺激されることで、代謝と細胞分裂が強化されます。

Healyのレゾナンス分析機能は、特定のユーザーに必要な周波数応用期間を分析し、応用された周波数全ての進行状況を常にチェックします。Healyは、適時自動で、次の周波数に切り替え、必要がなくなるまで、または、最長応用時間になるまで、周波数を適用し続けます。

全身治療向けのHealyプログラム構成

Healyは、144,000のゴールド周波数を使います。モデルによると、それぞれには固有の効果があります。Healyの中心部には、ゴールド周波数を使う量子センサーがあり、応用時に個人に適した周波数を個別に分析します。

ゴールド周波数は、ポルトガルの臨床ディレクターそして研究者のNuno Ninaによって共同開発されました。Nuno Ninaは、彼のクリニックで実績のあるセラピープロトコルを使い、何千人もの患者の治療に成功した15年もの経験があります。ゴールド周波数に基づき、Healyは、生命のたくさんの領域や様々な症状の生体エネルギーをサポートする100以上の連続したプログラムを用意しています。これらHealyの応用を、体系的プログラムと呼び、その名前には「syst.」という略語が付いています。体系的プログラムは、生体エネルギーの原因のバランスを取ることを目的としているため、ほぼすべての目的に使用することを推奨しています。これが理由で、体系的プログラムは局所的には適用されず、ほとんどの場合プレスレット電極を使用して包括的に適用されます。この方法では、周波数は上半身とその臓器、腺、神経系を介して適用されます。

体系的プログラムには、リアルタイム、レゾナンス、そしてインディケーションという3つのモードが搭載されています。

リアルタイムモードでは、現時点で適切な周波数を判断し、リアルタイムで適用します。レゾナンスモードでは、現時点のレゾナンス周波数を判断し、身体に「必要がなくなる」までリアルタイムで適用します。インディケーションモードでは、応用向けに特別にコンパイルされた周波数プールから、特定の周波数を分析し、身体に「必要がなくなる」までリアルタイムで適用します。

リアルタイム

弊社のモデルによると、各周波数には異なる効果が見られ、適用中のユーザーの症状が短時間で変化します。弊社の経験から、治療中に、ユーザーが必要とする周波数を分析することは重要であるとわかりました。Healyは、リアルタイムで各周波数を判断することができるので、変化するニーズに順応することが可能です。

リアルタイムモードでは、周波数を決めるために、以下の周波数帯を使用します

- 0.1 Hz - 1 kHz
- 15kHz - 1 MHz

レゾナンス

レゾナンス分析機能により、Healyは周波数適用期間を分析し、10秒ごとに適用中の周波数の進行状況を確認します。リアルタイムモードでは、適用中に周波数を個別に判断します。各周波数は、-100%と+100%の間になった時、95%に達した時、またはレゾナンス適用最長時間が過ぎた時まで適用されます。現在の進行値は、Healyのアプリケーション画面で表示されます。

レゾナンスモードでは、周波数を決めるために、以下の周波数帯を使用します。

- 0.1 Hz - 1 kHz
- 15kHz - 1 MHz

インディケーション

生命の特定の領域に対する特定の周波数が、インディケーションブロックに保存されます。例えば、腎臓を生命エネルギー的にサポートする際に使用する特定の周波数は、特別なインディケーションブロックに保存できます。そして適用中は、この指定の周波数プールから、周波数を判断し、進行分析が実施されるレゾナンス適用同様に、進行が95%に達するまたは、インディケーション適用最高時間に達するまで適用されます。Healyの周波数プログラムは400までの異なる周波数に対応しています。

注意点

妊娠中の方は使用できません

てんかんの発作をお持ちの方は使用できません

ペースメーカーをご使用中の方は使用できません

心疾患をお持ちの方は使用できません

運転中や重機器の操作中は使用しないでください

電極を直接目の上、口の上、首の正面(特に頸動脈)、胸や上背部に置いたり、心臓を横切るような形で置かないで下さい

その他、以上を感じた場合は直ちに使用を中止してください

Healy本体を液体に浸さないでください

周波数応用と組み合わせたサポートファクター

周波数プログラムで更に効果を得るため、毎日の生活に以下の日課を加えることを推奨します

- ・最低、朝1L、午後500mlのミスを飲む(食前と食後の30分は飲まない)
 - ・可能であれば、最低15分は裸足で外を歩き、生体エネルギーを解放する(これにより、電位を自然に均一化することが可能です)
 - ・新鮮な空気の中で運動をし、エネルギーの流れを有効にする
- ※運動中はHealyを使用可能です
- ・自然かつバランスの取れた栄養摂取
 - ・周波数プログラムを心がけ、意識する
 - ・過剰な周波数応用を避ける一周波数応用は1日に2～3回までとしてください

装着の方法

Healy 本機とケーブルの接続

Healy本機とケーブルの接続部は根元までしっかりと差し込んでください

＋と－は関係ありません



ブレスレット(手首用ベルト)

- ・ブレスレットのボタン部分を手首の内側の中央にくるように巻く
- ・ブレスレットと手首を湿らせてから巻く
※水分はジェルでも構いません
- ・ブレスレットが手首全体に密着(フィット)するように巻く
- ・左右は関係ありません

ピュア
最大プログラム期間：52分



両手でのブレスレット使用。推奨される適用頻度：毎日電極の極性（+または-）は、本プログラムには関係ありません。
本プログラムは生体エネルギー場の調和を目的としています。



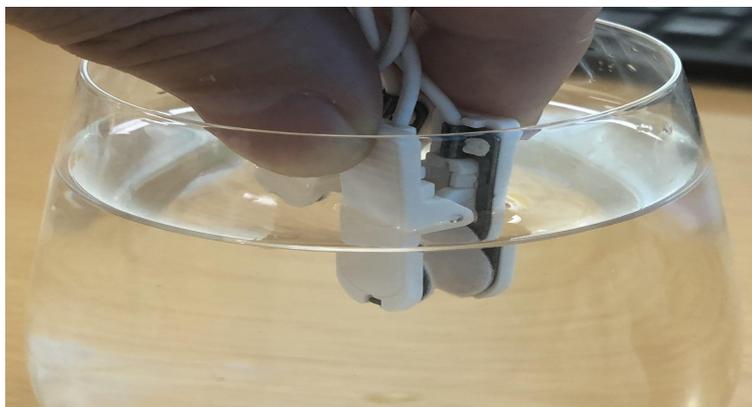
耳用電極

- ・耳用電極のフェルト部分を十分に湿らせてから挟む
※水分はジェルでも構いません
- ・左右は関係ありません

プログラム期間：20分



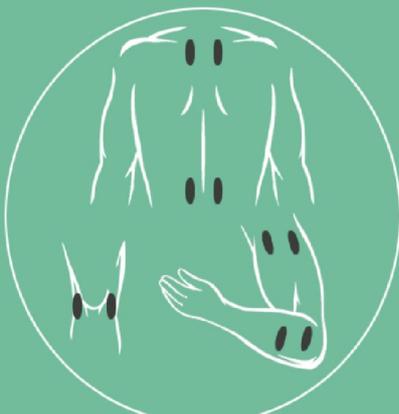
フェルトまたは接触ジェルで湿らせた耳用電極を耳たぶに固定します。あるいは、小さな丸いパッド型電極を乳様突起部分に固定します。電流は若干感じる程度です。
推奨利用：毎日
電極の極性（プラスかマイナスか）は本プログラムには関係ありません。



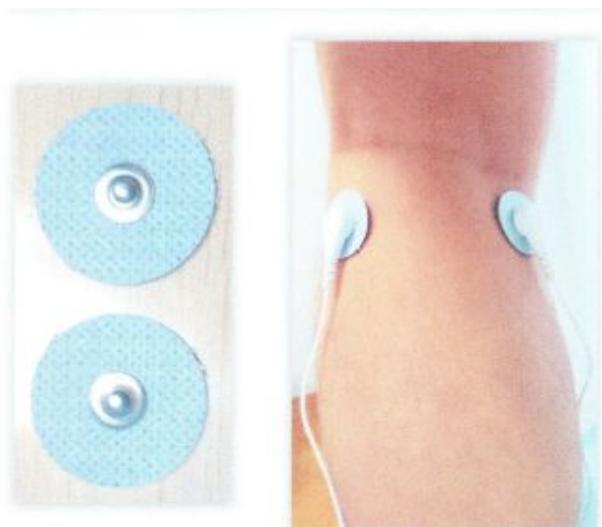
パッド型電極

- ・背中、膝裏、腕など対象部位を左右から挟むようにパッドを貼り付けます

月経 局所
プログラム期間：20分



パッド型電極を対象領域から数センチ離れたところに置きます。推奨利用：初回は毎日。慣れてからは2日おきまたは週1回。
電極の極性（プラスかマイナスか）は本プログラムには関係ありません。

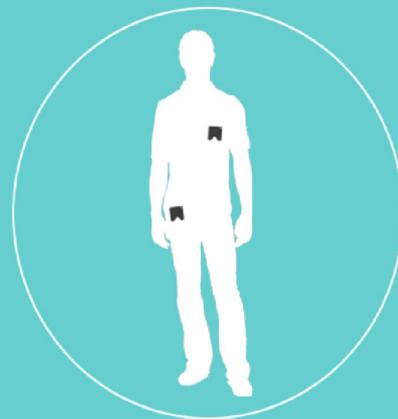


電極なし

- ・このタイプのプログラムは電極を使用しません
- ・Healy本機を体に直接装着するのがベストです

電気感受性

最大プログラム期間：86分



本プログラムは電極なしで使用します。Healyを体に直接装着することを強くおすすめします。または、プレズレットをより集中的に使用してください。
電極の極性（+または-）は、本プログラムには関係ありません。
本プログラムは生体エネルギー場の調和を目的としています。

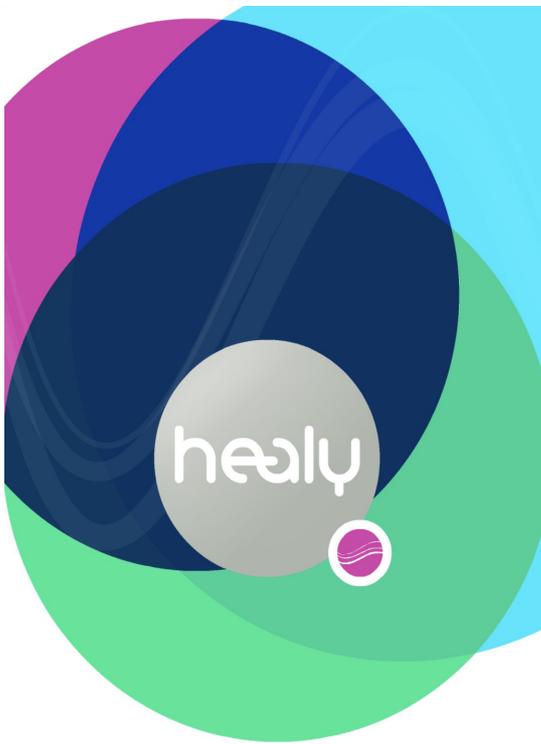
周波数プログラム使用方法



Healy本機の電源を入れる



スマートフォンの
Healy アプリを起動する



healy

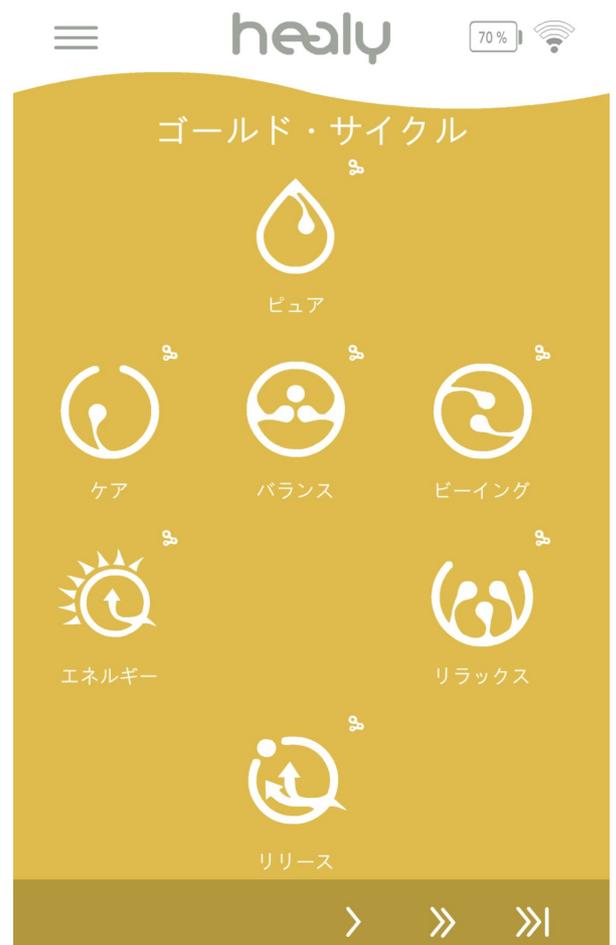
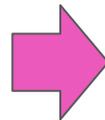
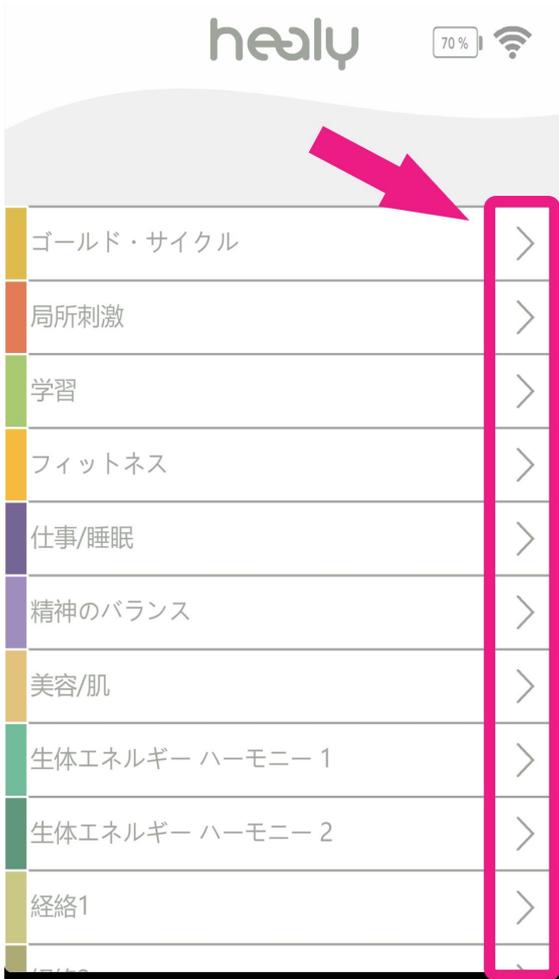
注意事項

Healyをご使用になる前に、取扱説明書および安全上の注意事項をよくお読みください。

Healyは、疾患を治癒、治療、緩和、診断、予防するのではなく、生体エネルギー場を調和させ、回復力、活力、健全力を強化するよう設計されています。Healyは専門医の診察、診断あるいは治療の代用として使用できるものではありません。その種のアドバイスについては必ず視覚のある専門の医療従事者にお尋ねください。Healyは必ず取扱説明書に従ってご使用ください。使用されている用語は治癒を保証するものではなく、経験上の目標/承認としてご理解ください。

次

次をタップ



お好みのHealyプログラムを選択

お好みの周波数プログラムを選択

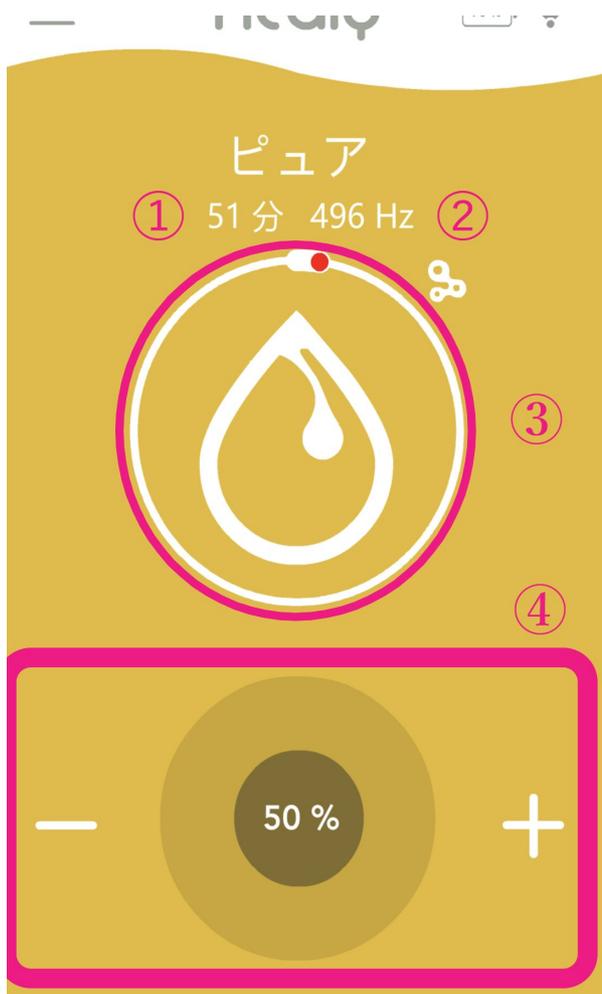


- ①一覧へ戻る
- ②バッテリーの残量
- ③プログラム名
- ④プログラムの時間
- ⑤電極の種類
- ⑥スタート/キャンセル

問題なければスタートをタップ



プログラムの送信完了まで待機



- ①残り時間
- ②調整している周波数

③進行状況

プログラムが正常に実行されている場合は【白】で表示されます
短時間であれば【黒】で表示されていても問題ありませんが
ずっと【黒】で変化のない場合はケーブルが抜けてたり
身体の水分量が不足している可能性があるため
ケーブルが正しく装着されているか確認して接続に問題ない場合は
水分を補給して下さい

※耳用電極は【グレー】、パッド型電極の場合は【黒】一色で
表示されますが問題ありません

④強度

推奨強度

ブレスレット(手首電極)の場合 15~55%

耳用電極の場合 15~30%(初めは20%まで)

※初期値は15%に設定されています